

小学校 NIE

学びをつなげ・広げ・深める NIEの実践

～環境教育『地球学』の取り組みを中心に～

北海道河東郡鹿追町立笹川小学校 伊東 宏修

1. はじめに

鹿追町は、町内全ての学校が文部科学省の研究開発学校指定を受け『カナダの人と環境問題を英語でディスカッションできる子ども』の育成を目指し、英語と国際理解教育の【カナダ学】、ふるさと教育の【しかおい学】、町の【新エネルギービジョン】とを関連させ、環境教育【地球学】を開発するなど小中高一貫教育を進めている。

本年度からは、鹿追ジオパーク構想のもとユネスコの持続可能な開発のための教育(ESD) や防災教育を取り入れた『新たな地球学構想』を開発している。

この教科では、自然体験活動を中心に種々の直接体験を重視している。それとともに、体験を様々な事象と関連付けながらまとめ、児童が主体的に各教科での学びを繋げ活用することを重視し、総合的に質の高い学力を育むことをねらいとしている。そのため有用な手立てとして、新聞教育に着目し実践を進めている。

2. 取組の概要

(1) 新聞スラツプ

家庭学習の取り組みとして新聞スラツプを推奨している。特別なテーマなどは設けず、個々が関心を持った記事を取り上げ、内容の要約とともに感想や意見などを記入することから取り組みを始めた。

スラツプは日常から友達同士で見あうことができるようにし、意見交流などを行うことで、知識の幅を広げるとともに、事実の多様な捉え方などにも気づくことを期待している。

(2) 壁新聞制作

新聞のテーマ・レイアウト・記事の割り振りなど一切を児童が主体となって制作し

ている。記事の内容についても、各記事で伝えたい事柄の共通理解を図った上で原稿を交流し、よりよく伝えるための表現方法について検討を行うようにしている。

また、体験活動や取材活動・調べ学習などで得た、一般的情報と個別の事例などを比較・整理するとともに自分たちの立場を明確にし、地域の自然を大切にしていくなめの意見をもち、発信できることを期待している。

(3) 各教科との関連

国語科の説明文教材で段落ごとに見出しをつけたり、文章を要約したりする学習の参考資料などとして、新聞の見出しやリード文を活用している。内容や表現方法を比較したり、見出しから広がるイメージを交流したりすることを通じ、言葉の使い方や微妙な違いなどにも注目することを期待している。

また、記事に掲載されている様々な動向などに関心を持ち、学習と主体的に関連付けて活用・探求するとともに、地域への関心を高める契機となることを期待している。

3. 成果と課題

- ・ 『読む』『書く』の力が高まり、客観的学力にも向上がみられた。
- ・ 情報への関心を高め、様々な場面で主体的に学習を活用・探求する姿が増えた。
- ・ 視野や知識が広がることで、地域への興味・関心に一層の高まりがみられた。
- ・ 立場を明確にしながら意見を整理し伝えようとする力が高まった。
- ・ 発達段階に応じた効果的取り組みの具体例について整理する必要がある。